



# 1月トリアだより



## 1月の活動



月	火	水	木	金	土
※12月28(土)~1月3日(金)まで 冬期休暇とさせていただきます。 ※感触遊びは、「小豆あそび」の為、 スモックは使用しません。		<b>1</b> 休み (冬期休暇)	<b>2</b> 休み (冬期休暇)	<b>3</b> 休み (冬期休暇)	<b>4</b> 休み
<b>6</b> 運動 認知課題 	<b>7</b> 音楽・絵画 スモック	<b>8</b> 屋外・手指 帽子	<b>9</b> ルール (早降園日)	<b>10</b> 運動 認知課題 	<b>11</b> 休み
<b>13</b> 休み (成人の日)	<b>14</b> 屋外・手指 帽子	<b>15</b> 感触・ルール 	<b>16</b> 運動 認知課題 	<b>17</b> 音楽・絵画 スモック	<b>18</b> 運動 
<b>20</b> 屋外・手指 帽子	<b>21</b> 感触・ルール 	<b>22</b> 運動 認知課題 	<b>23</b> 音楽・絵画 スモック	<b>24</b> 屋外・手指 帽子	<b>25</b> 手指 
<b>27</b> 感触・ルール (避難訓練)	<b>28</b> 運動 (早降園日)	<b>29</b> 音楽・絵画 スモック	<b>30</b> 屋外・手指 帽子	<b>31</b> ルール お誕生会 	

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本)：8日(水)、28日(火)

言語聴覚士(永山)：7日(火)、10日(金)、20日(月)、21日(火)、29日(水)、30日(木)

理学療法士(樋口)：15日(水)、23日(木)、31日(金)

作業療法士(大平)：9日(木)、16日(木)、22日(水)、24日(金)、27日(月)



※当日のキャンセル連絡は、8時45分までに連絡をお願い致します。8時45分以降の連絡になりますと昼食代(297円)が発生します。

- ・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、ご連絡させていただきます。
- ・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までにご登園下さい。給食準備の為、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、ズボン、長袖シャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



## 【愛着障害のある子どもたちへの支援について】

最近、幼稚園や保育園、小学校および中学校での研修を依頼されると、「愛着障害のことについて話をしてほしい」と言われることが多くなってきました。友達や教師に対する暴言・暴力、授業妨害、学校からの逃避など、様々な行動を起こしてしまう子どもがどこの学校でも多くなっています。愛着障害の子どもたちは、その行動から「特別支援教育対象の子ども」と思われることも多いです。しかし、両者は全く異なります。

特別支援教育対象の子どもは、いわゆる先天的な脳の機能障害のある子どもたちのことです。一方、愛着障害のある子どもは、生まれてからの環境が要因となって引き起こされる子どもたちのことです。虐待、ネグレクト、愛情不足など、不適切な対応を受け続けた結果、二次的障害として起こってしまうものもあります。

こうした愛着障害のある子どもへの対応は、多くの時間と労力がかかってしまいます。一番の対応策は、「本人との丁寧な対話を紡ぎ上げる」ことです。今まで生きてきて苦しかったこと、辛かったことを聞き取り、ネガティブな体験に対して寄り添い、まずは本人の話をたくさん聞いてあげることです。子どもによっては、一度の面談では何も語らないこともあります。それでも構いません。「私は常にあなたの味方ですよ」という姿勢を示し続けることが大事です。加えて、一度の面談で解決しようとしません。逆に、一度の面談で解決することなど到底できないということを認識しておくことも大事です。本人との丁寧な対話を紡ぎ続け、傷ついた心を少しずついやしていく姿勢が大事です。「この人に相談してよかった」「この人になら苦しい胸の内を話せるかも」本人に「信頼の糸口を感じさせること」が何よりも大事です。愛着障害は、子どもが安心して育つための土台となる愛着が十分に形成されないときに生じます。親の不在や無視、虐待、トラウマ体験などが背景となることが多いですが、これらの状況が改善されれば、子どもは愛着を育て直すことができます。

愛着障害は克服可能な課題であり、適切な支援や環境があれば、子どもは再び他者を信頼し、自分自身の価値を感じられるようになります。

愛着障害をはじめ、  
支援に役立つ情報を発信しています。  
登録していただければとても嬉しいです!



相談専門員  
阿久根 剛

